

秘

製鐵所官民合同反對運動 (昭和八、四、一〇)
第三報

製鐵所官民合同反對運動

一、反對運動其後の概要 (二月二十一日―四月十日)

前同所報の如く、舊社民黨系労働団体の指導に依り組織された製鐵官民合同反對同盟會は、全従業員を其の反對運動の傘下に完全に統制し、且つ宣傳の徹底と數回に亘る陳情團の上京とに因り反對氣勢を白熱化さしめ、一面亦舊勞大黨や國社黨や左翼の反撃策動に對抗するの必要上、勢ひの赴くところ遂に絶對反對の旗幟を掲げ罷業も敢えて辭せざるの態度を示して、専ら法案の提出阻止に全力を傾注したのであつたが、二月末其の議會提案を見るに至り、一部従業員よりは無爲無策なりとして攻撃批難せられつゝ、反對同盟會の最高幹部は早くも絶對反對の主張より既得労働條件確保への方向轉換に焦慮しつゝも遽かに態度を變へ難く、一般従業員の反對熱の緩和するを傍觀しながら、法案の貴族院に廻附された後、即